

放送大学埼玉学習センター・CSCニュースレター

No. 6 (2023.5.19)

編集・発行：放送大学埼玉CSC交流会・ニュースレター編集委員会

新たな創造的学びの場をめざして



埼玉CSC交流会
新代表 南雲 功

今年度、CSC代表を務めさせて頂く、自然と環境コース在学の南雲功と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

これからは、コロナという時流が切り裂いたものを再び結び合わさねばなりません。大学という学ぶ場は、独学だけでは成立しません。仲間と共に学び、時には激しく議論し、各々の高みをめざしていく場ではないでしょうか。そのための仕組みを学生の立場から構築していくことが、CSCに課せられた使命ではないかと存じます。通信制大学の欠点である対面機会の少なさを、経験、年齢、地域などの多様な背景を持つ学生による学びの場によって乗り越えることができるでしょう。具体的には、本誌やWeb、学習センターの掲示板を用いた情報交換の仕組みを構築し、サークル、学習会、懇談会など多様な学びの場の活性化を目指します。そこから新たな取組が始まることを期待します。詳細は本誌「学生のひろば」を御覧ください。皆様の積極的参加をお待ちしております。

退任あいさつ



埼玉CSC交流会
前代表 大島祥市

自ら科した4年間の任期を終え予定通りの退任です。お世話になりました。

CSC交流会としては8代目、これまではフェスタ実行委員長が代表を務めていましたので単独代表としては初の役割です。令和元年4月の着任時には既に中尾事務局長、南雲フェスタ実行委員長が就任しており、その他心強いスタッフに支えられてのスタートになりました。現に第13回フェスタは初の試みとしてチケット販売をするなど成功裏に終えました。

所が所がー。以下大変な事態を迎えます。コロナ禍です。第14回フェスタは中止。そんな中でもセンター事務長の協力を得てほぼ月1回のCSC会議をズームで開き、令和3年第15回フェスタをズームで実施、昨年年第16回フェスタはライブとズームの併用で実施出来ました。

南雲氏がフェスタ実行委員長のまま代表を引き受けてくれ、4ページに掲げた新役員スタッフも整いました。フェスタ大好き人間の私は2つのダンスサークルを中心にパフォーマンスに徹してまいります。

【CSC交流会とは？】埼玉学習センターの学生・サークル（C：サークル）・埼玉同窓会（S：さくら草）・埼玉学習センター（C：センター）、の交流組織です。例年9月の学園祭・埼玉フェスタや、入学式時のサークル紹介（昨年度は共にオンラインで実施）を企画・実施しています。

学生のひろば

オペラ「秩父晩鐘」出演



オペラ「秩父晩鐘」に出演して

2022年12月17日、18日の両日、和光市民文化センター「サンアゼリア」において上演のオペラ「秩父晩鐘」に埼玉学習センター合唱団有志と非常勤講師の福井克明先生が出演、雑誌「音楽の友」2023年2月号にも掲載されました。



牛山宏隆

明治17年に起こった「秩父事件」、この事件を題材にした、台本・小田健也の作、池辺晋一郎作曲のオペラである。埼玉学習センター合唱サークルWWMとしては三回目のオペラ出演。

このオペラで我々合唱は、秩父の山々の木々となって風に揺れ・ざわめき、そして農民側に立っては秩父の歴史の流れを語ってゆく。合唱がこのオペラでは主役級の重きをなしている。

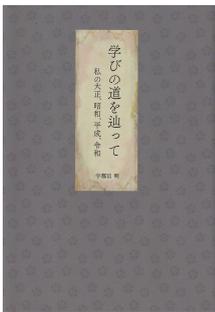
オペラ終章では、合唱がff（フォルティシモ）で”聞こえるか！百姓たちのおめき”と叫び歌い、風がざわめき、そして止む。遠くに鐘の音。この事件で死んでいった百姓たち、死刑となった首謀者たち、彼らを弔うかのように晩鐘が聞こえてくる。

歌っていて、今までにない感動を覚えたオペラでした。

書籍紹介

宇都宮明氏著『学びの道を辿って』紹介

白根旅棲



宇都宮明氏(放送大学学生、故人)の自叙伝を拝読した。その後半生というよりも最晩年に放送大学と強い絆で結ばれていく。戦前、高等小学校卒業後、上等兵として終戦を向かえる。当時、学歴不問の簡易裁判所判事を勤め、退官後に放送大学に入学するものの卒業までに年月を要するため、聖学院大学院修士課程にも入学する。結局、学士より先に修士課程を修了することになる。その後、博士号も取得するのだが、放送大学では、小学校での疑問を解決していく学びの喜びを語っている。社会経験豊かな氏にとって、専門研究とは異なる一般教養の深さを体得されたのであろう。

埼玉フェスタ2023開催

今年度の埼玉フェスタは、2023年9月9日(土)、10日(日)に対面開催の予定です。感染対策として観覧は事前申込制とさせていただきます。また、一部企画についてはZoom放映も企画しています。詳しくは同封のチラシをご覧ください。最新情報はCSC交流会のWebサイトをご覧ください。本誌最終ページをご参照ください。

新サークル紹介



リコーダーを奏でる会

どなたの家にもかつて音楽の授業で使ったリコーダー、たて笛が眠っていることと思います。音のでないリコーダーはただの棒にすぎません。久しぶりに手にとって息を吹き込むと、懐かしさとともに素朴な音色が響いてくるかもしれません。

私達は昨年10月から埼玉学習センターに集いリコーダーの響きを愉しんでまいりました。福井克明先生のご指導のもと、時には笑の渦に包まれながら、練習の成果を実感しています。

活動目標として、9月のさいたまフェスタでの演奏デビューを目指しています。

奏でる会の活動の見学、ご参加、歓迎いたします、下記宛ご連絡ください。

連絡先 小川 肇 080-2553-4467 (携帯)

活動コーナー

【書籍】

- ・ 宇都宮明 (学生、故人) 『学びの道を辿って』：埼玉新聞に掲載
- ・ 鎌田尚美 (学生) 『持ち重り』思潮社：第28回中原中也賞最終選考にノミネート
- ・ J. ヒック著、間瀬啓允監訳、南雲功 (学生) 他8名共訳 『宗教と理性をめぐる対話』教文館
- ・ 森中定治 (学生) 『プルトニウムを解毒し脱原発・脱核兵器への道を切り拓く「生物学」的思考法』22世紀アート、Kindle版で再販
- ・ 『新版 角川俳句大歳時記 春』に榊原敏子 (同窓生) の句が掲載
- ・ 渋谷治美 (前所長) 『カントと自己実現』花伝社：第35回和辻哲郎文化賞受賞

【パフォーマンス】

- ・ 森中定治 「第1回さいたま国際音楽コンクール」声楽出演：第4位埼玉県知事賞
- ・ 埼玉学習センター合唱団有志 「オペラ『秩父晩鐘』合唱出演」：音楽の友に掲載

埼玉学習センター所属学生の出版物、舞台出演等の情報を募集しております。

自薦大歓迎！CSC交流会事務局のメールアドレスまでお寄せください。

CSC交流会WEBサイト始動！

放送大学埼玉CSC交流会のWebサイトを立ち上げました。埼玉学習センター所属の大学公認サークル、センター公認サークル、学習同好会等の紹介と開催予定日、埼玉フェスタの最新情報等を掲載しております。各サークル・団体にご興味がある方は、サイトのお問い合わせフォームかCSC交流会事務局のメールアドレスへご連絡ください。

【各サークルの皆様へ】

紹介記事を登録希望のサークルは、ご連絡ください。CSC会議に出席していただくことで、掲載が可能です。

総会報告

2023年3月26日（日）、埼玉学習センター9階第一講義室において、CSC交流会総会が開催され、すべての議案が可決・承認されました。

2023年度CSC交流会役員

代表 南雲 功
副代表 尾山 光良
副代表 茂木 佐知子
副代表 富田 尚隆
会計 田中 美枝子
会計 大畑 みえ子
事務局長 榊 由美
事務局補佐（総務） 福盛田恵子
会計監査 坂本 賢一

2022年度会計報告

収入の部		支出の部	
前年度繰越金	¥267,237	フェスタ費	¥3,960
寄付金	¥21,000	文具・消耗品	¥330
預金利息	¥2	慶弔・交際費	¥10,580
合計	¥288,239	合計	¥14,870

差額¥273,369は次年度に繰越いたします。

投稿大募集！

- ◆ 放送大学に入学しての意気込み、卒業生のこれまでの学びを振り返ってのご感想、在学生のエッセイ等、自由なテーマでの投稿（400字程度）
※今後WEBサイト掲載を検討します。
- ◆ 著書、展覧会、舞台等の個人パフォーマンス
- ◆ 新たなサークル、勉強会など

このような情報をCSC交流会事務局のメールアドレスにお寄せください。メールには、学生番号、氏名の記載をお願いします。

CSC交流会事務局
saitama.cscnetwork.ouj@gmail.com



新名称募集！

ニューズレターの新たな『名称』を募集します。現在の『ニューズレター』の名前はコロナ禍の混乱の中での臨時のもので、学習センター『さきたま』、同窓会『さくら草』と並ぶ学生の情報誌として、新たな名称を募集します。CSC交流会事務局のメールアドレスまで、タイトルに「CSC誌名称応募」と入れて、学生番号、お名前を明記の上、お送りください。採用の方には粗品を差し上げます。皆様のご応募、お待ちしております。

CSC交流会事務局より

CSC交流会のWEBサイトが出来ました。各団体の最新情報を掲載予定です。見学希望の方もお問い合わせフォームからご連絡いただければ各団体の代表者にお取次ぎいたします。

放送大学埼玉CSC交流会Web
<https://oujsaitama-csc.sunnyday.jp/>



編集後記

編集委員会に新たなメンバーを迎え、誌面を一新してお届けしました。今年度はインターネットを活用し、新たな活動を展開していく予定です。コロナ禍で途切れてしまった学生同士の繋がりを取り戻す一助になればと願っています。

寄稿・編集にご協力いただきました皆様、ありがとうございました。

CSCニューズレター編集委員 茂木